

記入例

在職証明書

<現職の教諭等*としての勤務歴>

ふりがな	きょうと みやこ	生年月日 (和暦)	平成2年12月30日
氏名	京都 みやこ	採用年月日 (和暦)	平成25年4月1日
在職期間 (和暦)	勤務校名	備考 (担当校種・教科、兼務校等を記入)	
平成25年4月1日～平成29年3月31日	〇〇市立〇〇小中学校	小学校籍	
平成29年4月1日～令和2年3月31日	〇〇市立〇〇中学校	英語担当、〇〇市立〇〇〇〇〇〇小中学校 兼務	
令和2年4月1日～令和3年3月31日	〇〇市立〇〇小学校		
令和3年4月1日～ 現在に至る	〇〇市立〇〇小学校	特別支援学級担任	
現在の勤務校が一番下になるように、 上から時系列で記載してください。		現職教諭特別選考の要件や、希望する 特例の要件を満たしていることが分かる ように、可能な限り記載してください。	
行が足りない場合は 追加してください。			

*教諭等とは、教諭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、任用の期限を付さない常勤講師（日本国籍を有しないものに限る。）を指す。

休職期間	・平成26年10月1日～平成26年12月31日 病気休職
その他特記事項	産休・育休については「休業」となるため、休職期間への記載は不要です。

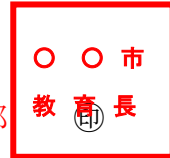
上記のとおり、在職していたことを証明する。

在職証明書の日付は、令和6年4月1日以降としてください。

令和6年4月1日

教育委員会（都道府県、市町村等）や学校法人等、任命権者による証明が必要です。任命権者でない者（例：校長等）により証明されたものは認めませんのでご注意ください。

(例1) 〇〇市教育長 京都太郎



(例2) 〇〇市教育委員会



※できる限り1ページ以内におさめること。